

KVMベースのHCIベンダー

VMware vSphereやMicrosoft Hyper-Vなど、ハイパーコンバージド環境で使われている人気のハイパーバイザー一覧。

多くのハイパーコンバージドベンダーもオープンソースのKVMハイパーバイザーのバスに飛び乗った。ここに挙げたのはそれらの製品の一部である。

■ **Cloudistics.** Cloudistics Spark/ハイパーバイザーは下層にKVMの仮想化機能を使っており、Cloudisticsの全プラットフォームの土台を形成している。

■ **Maxta.** MaxtaのVSAモデルはKVM、OpenStack、vSphereをはじめとする複数のハイパーバイザーをサポートしている。VSAモデルのおかげで、Maxtaは比較的簡単に他のハイパーバイザーをサポートできるようになっている。

■ **Nutanix.** Nutanixは瞬く間にハイパーコンバージェンス世界の重要な位置へと駆け上がった。Nutanixは創業の頃からvSphereをサポートしてきた。しかし、同社は現在は単にAHV

として知られるAcropolis Hypervisorを重要な差別化ポイントとして開発した。AHVは、KVMにエンタープライズの世界でも通用するように様々な機能を追加した、大幅カスタマイズドバージョンである。例えばAHVでは、ユーザーはvSphereが稼働しているHCIクラスターにAHVのストレージオンリー・ノードを追加できる。これはつまり、Nutanixのユーザーは、vSphereのライセンスを追加購入しなくともストレージを追加できるということだ。

■ **Scale Computing.** 同社のハイパーコンバージェンス・プラットフォームは、KVMの拡張バージョンをベースに作られている。このプラットフォームでは、Maxtaのような仮想ストレージ・アプライアンス、即ちVSAは使われていない。ハイパーバイザーとしてKVMだけをサポートすることによって、Scale Computingは抽象化を最小限に抑え、自社のHCIシステムに統合的なハイパーバイザー・サービスを提供している。